

2023年度 京都大学大学院農学研究科概要

農 学 専 攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
作物学 【101】	農作物の高収量・高品質生産を環境との調和のもとに効率的かつ安定的に行う技術的論理の追求、その基礎としての作物の生理・生態学的特性と遺伝子・環境相互作用の解明、およびそれらの評価手法の開発。	白岩 立彦 田中 朋之 田中 佑
育種学 【102】	コムギ、イネ、ダイズ等の重要作物の育種の基礎となる表現型とゲノム多型情報との相関解析。有用遺伝子の探索と単離のための遺伝学的、生理・生化学的解析。ゲノム改変遺伝子の作用、根圏微生物と作物の共生、生育相転換の制御等の育種的に重要な生命現象の解析。	那須田 周平 寺石 政義 吉川 貴徳
蔬菜花卉園芸学 【103】	蔬菜・花卉に変革をもたらす生理・生態や品質に関する基礎研究及び蔬菜・花卉生産の安定に寄与する組織細胞培養の応用、環境調節技術の開発。有用形質の遺伝子解析に基づく新品種育成。	土井 元章 田中 義行 大野 翔
果樹園芸学 【104】	果樹のライフサイクル全般にわたる生理・生態、特に花成・受粉生理、果実発育・成熟などの究明と果樹遺伝資源の系統分類および組織細胞培養系を利用した果樹の繁殖・育種。	田尾 龍太郎 山根 久代 西山 総一郎
雑草学 【105】	持続的・効果的な雑草管理技術構築の基礎となる雑草の生物的特性に関する研究。特に、雑草の生活史特性の適応・進化、雑草の除草剤抵抗性生物型及び外来雑草の生態・遺伝的特性の解明。	黒川 俊二 下野 嘉子 岩上 哲史
(農場) 栽培システム学 【106】	現在の農業生産システムが内包する問題点を、耕地生態系の構造ならびにその機能といった観点から明らかにし、それらの解決策を探るとともに、耕地生態系の保全と高生産を両立した持続的な農業生産システムを構築することを目的とした基礎的、実証的研究。	中崎 鉄也(兼) 井上 博茂 岩橋 優
(宇治) 品質設計開発学 【107】	食品の品質設計の基礎となる農作物のアレルゲン性、加工特性、生理機能性などの品質と成分との関係に関する研究。食糧の用途を拡大しうる成分の設計や新たな利用法の開発に関する研究。農作物の品質の改変に寄与する成分の生合成機構に関する研究。	丸山 伸之 Cerrone S. CABANOS 松岡 祐樹
(宇治) 品質評価学 【108】	農作物や食品の品質評価。メタボローム解析を用いた成分分析。味覚受容機構や美味しさに関わる要因(加齢、疲労、味受容体など)の解明。食品および園芸植物の香りや機能性成分の分析、生理機構の解明。	及川 彰 林 由佳子 石橋 美咲
(農場) 植物生産管理学 【109】	農業生産における環境負荷を低減した生産性向上や高品質生産技術の開発に重要な農・園芸作物の諸特性に関する生理・生態学的、遺伝・育種学的、分子生物学的な基礎研究及び生産圃場における応用、実証的研究。	中崎 鉄也 中野 龍平 西村 和紗 元木 航 長坂 京香

(宇治) 宇治キャンパス …………… 宇治市五ヶ庄
(農場) 農学研究科附属農場 …………… 木津川市城山台

森 林 科 学 専 攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
森林・人間関係学 【201】	森林の利用・保全・管理に関わる様々な問題に対する社会・経済的な研究、持続的な森林管理、入会林野、森林地域における生業や材産物利用、森林認証制度やエコツーリズムなどの保全制度などに関する東南アジアや日本における研究。	松下 幸司 内藤 大輔
熱帯林環境学 【202】	熱帯を含めた地球上の植生と環境の相互作用に関する研究。木本植物の機能的形質の環境要因への適応と順応、熱帯林の生物多様性と生態系物質循環の相互関係の解析、地球温暖化の熱帯林炭素収支への影響、森林の環境サービスと生物資源の持続的利用、攪乱後の森林の再生・修復などの研究。	北島 薫 小野田 雄介 門脇 浩明*1 金子 隆之
森林生態学 【223】	森林生態系の長期維持機構を解明するための、樹木の栄養塩利用効率、樹木の生理生態、生物多様性の生態系機能、土壌栄養動態に関する研究。森林生態系における生物多様性の維持機構、及び昆虫と植物の相互関係に関する研究。持続的森林管理に関わる生態学的研究。	北山 兼弘 大澤 直哉 青柳 亮太*1
森 林 利 用 学 【203】	森林の木材生産と炭素蓄積機能の評価と利用に関する生態・生理・環境工学的研究。特に森林の構造発達および炭素動態の評価、温帯および熱帯樹木の生態生理学、年輪解析と安定同位体を用いた森林資源の広域時空間変動の解析など。	檀浦 正子
森 林 生 物 学 【204】	森林における植物の種生態、生物多様性保全、群落の構造と機能、野生生物個体群の遺伝構造、野生動物及び昆虫による森林被害とその防除に関する研究、森林生物資源の保全管理手法の追究。	井鷲 裕司 高柳 敦 山崎 理正
環境デザイン学 【205】	ランドスケープ（土地の自然と文化）の保護、保全・再生、創造に関する原論や景観生態学、緑化工学、造園計画と環境デザイン。庭園文化、都市緑化、森林風致、自然環境保全等の研究。	柴田 昌三 深町加津枝 貫名 涼
山 地 保 全 学 【206】	山地における崩壊や土石流などの土砂の生産流出現象、雨水浸透流出現象とこれに対する森林の影響および土砂災害対策、ガケ崩れ、斜面安定、溪流環境の研究。	小杉賢一朗 中谷 加奈 正岡 直也
森林水文学 【224】	水源涵養機能・地球環境保全機能等の森林の諸機能の持続可能性を知るために、森林における水循環・物質循環を観測から明らかにする研究。特に、大気・陸面間の水・CO ₂ 、CH ₄ 等のガス交換、蒸散・光合成・生態系呼吸、メタン放出・吸収、樹木の水分生理、土壌中の水移動、水質形成、降雨流出応答などの、水循環・物質循環に係わる動態の解明。	小杉 緑子 Daniel EPRON 坂部 綾香*1
生物材料設計学 【207】	木材をはじめとする生物材料の物性の究明とその応用、特に、①生物材料の物性究明と新規材料の設計、②木材および木質材料の破壊力学、③生物材料と人との親和性の科学的究明—例えば、住宅、家具、楽器などにおける木材の視触聴感覚的特性。	仲村 匡司 村田 功二
林 産 加 工 学 【208】	木材の長期・有効利用に関する基礎・応用研究。木造建築・建材や家具などの製造に関する加工技術（切削・研削、接着・接合、乾燥、劣化対策など）、電磁波（マイクロ波やミリ波）、X線、音響・振動などを用いたセンシング技術による非破壊検査と品質管理技術、伝統木工技術と現代技術の融合、文化財・木造建築の保存修復や維持管理技術。	藤井 義久 築瀬 佳之 澤田 豊
生 物 繊 維 学 【209】	セルロースを中心とする様々な多糖の固体構造、物理的性質、化学反応、特異な現象の解明。磁気プロセッシングなどを用いたセルロース系機能材料の創成。多糖のX線、中性子、各種分光法による構造解析。NMR、MR Iによる木材や多糖の構造解析と新規解析手法の開発。	和田 昌久 久住 亮介 小林 加代子

森 林 科 学 専 攻 (続)

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
樹 木 細 胞 学 【210】	樹木木部を中心とする組織・細胞の発達過程と定量的構造解析。細胞壁やセルロースなどの超ミクロ構造と形成の細胞学。細胞壁成分の生合成と堆積及びそれらの機能解析。生物材料の形態解析と物性との関連性。	杉山 淳司 吉永 新 栗野 達也
複合材料化学 【211】	木材・セルロース・キチン・グルコースなど、バイオマスから種々の化学的複合化手法を用いて優れた機能性高分子材料を創製する。特に、生分解性プラスチック、液晶光学材料、接着剤・発泡体・成形物、磁性材料、ソフトマテリアル（ゲル材料）などの設計開発。	上高原 浩 吉岡まり子 杉村 和紀
生物材料化学 【212】	木材成分を中心としたバイオマス成分の分析、化学反応、および機能化。例えば、リグニン-糖複合体の化学構造の解明、リグニンの電解酸化反応の検討、機能性セルロース誘導体の合成、ナノセルロース・ナノキチンの生医学的応用、バイオコンポジットの物性発現機構の解明など。	高野 俊幸 寺本 好邦
森林生化学 【225】	森林生化学に関する学理の究明。特に、森林バイオマスの循環のしくみ、利用に関する基礎および応用研究。植物、キノコなどの特性や、森林に関わる生命現象のしくみについて、生化学的・分子生物学的手法を用いて科学的に理解し、生態系の保護や未来型の社会に役立てるための研究。 寄附講座糸状菌・環境インターフェイス工学講座と協力して研究を推進。	本田 与一 坂本 正弘 中沢 威人 河内 護之*2
(フィールド研) 森 林 情 報 学 【213】	森林の持つ諸機能の評価とそれに基づく森林資源の最適管理に関する研究、特に森林の有機物生産、森林からの物質流出、森林資源管理と木材の流通と消費過程、植物-土壌-微生物の相互作用、森林生態系における生物進化の役割、生物多様性などに関する研究を行う。	館野隆之輔 小林 和也 坂野上なお 中西 麻美 松岡 俊将 杉山 賢子
(フィールド研) 森 林 育 成 学 【214】	森林生態系の物質循環や生物多様性などから生態系機能を解明し、その保全を進める研究、人工知能などの情報科学を使った森林生態系の研究、森林資源の持続的利活用のためのICT林業技術に関する研究。	徳地 直子 長谷川尚史 伊勢 武史 石原 正恵 赤石 大輔
(生存研) 材 料 生 物 学 【222】	木質バイオマスの優れた物性の構造的理解を目指した、バイオマス形成の合成生物学・生化学研究と、散乱・回折・顕微鏡による木質バイオマスのマルチスケール構造解析。自然科学的手法で紐解く、人と木材との関係にまつわる人文科学的研究。	今井 友也 馬場 啓一 田鶴寿弥子
(生存研) 生物機能材料学 【216】	生物のナノ構造を利用した高性能材料の開発。特に植物バイオマス資源から抽出したセルロースナノファイバーの構造・化学修飾・複合材料化・自動車及び電子デバイスへの応用に関する研究。細胞壁の構築・構造解析による樹体の支持機構の解明。木材の細胞骨格構造を活かした機能材料とその加工方法に関する研究。	矢野 浩之 阿部賢太郎 田中 聡一
(生存研) 循環材料創成学 【217】	木質バイオマスの構造と機能を探り、その特徴を活かした低環境負荷型木質新素材を創成する。特に、脱炭素社会に向けた接着システムの開発、未利用リグノセルロースを用いた新規材料の創出、木材・木質材料の経年変化の解明、木材の構造とメカニクスに倣う材料開発など。	梅村 研二 松尾 美幸

森 林 科 学 専 攻 (続)

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
(生存研) 居住圏環境共生学 【218】	木材腐朽菌およびシロアリを含む木材食害性昆虫類の生理・生態を利用した環境共生型の総合的木材保存システムの開発。木材劣化生物・熱変換・抽出技術を用いた環境浄化やエネルギーの創製。木質炭素化物の微細組織解析と機能性材料への応用。熱帯人工林における木材劣化生物多様性。生物的防除を利用した持続型農業生産。社会性昆虫の生体防御機構。	大村 和香子 畑 俊充
(生存研) 木質構造科学 【221】	新たな木質構造システムに関する研究、既存の木造建造物の構造性能評価と補修・補強技術の開発、木質構造の空間と住環境評価、劣化した木質系部材・構造の残存性能評価、伝統的木造建築物の構法と構造性能に関する研究など。	五十田 博 中川 貴文

*1 白眉センター

*2 寄附講座 糸状菌・環境インターフェイス工学講座

(フィールド研) フィールド科学教育研究センター

森林ステーション

芦生研究林 …………… 京都府南丹市美山町芦生

北海道研究林 …………… 北海道川上郡標茶町多和

和歌山研究林 …………… 和歌山県有田郡有田川町上湯川76

里域ステーション

上賀茂試験地 …………… 京都市北区上賀茂本山2

徳山試験地 …………… 山口県周南市徳山鉢窪

北白川試験地 …………… 京都市左京区北白川追分町

(生存研) 生存圏研究所 …………… 宇治市五ヶ庄

応用生命科学専攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
細胞生化学 【301】	多細胞生物の基礎となる細胞外環境の感知とそれに応答した細胞機能の制御に関する分子細胞生物学的研究。具体的には、動物細胞の細胞接着、細胞骨格、細胞膜輸送体・チャネルに関する生化学的機能解析ならびにそれらと関係する疾患の原因解明。	木岡 紀幸 木村 泰久 黒田 美都 小段 篤史*1 永田 紅*2
生体高分子化学 【302】	生体分子の分子構造と生理的機能発現の相関、生命情報の基盤解明とその集積化応用、オミックス解析などのバイオ計測を基盤とする生命・環境・健康・食に関する実用研究、有用微生物の創出、新規バイオ研究ツールやバイオテクノロジーの開発。	菅瀬 謙治 黒田 浩一 青木 航
生物調節化学 【303】	生理活性物質の構造と活性に関する有機化学的・生化学的研究。昆虫の脱皮変態を制御する成長制御物質や植物ホルモン活性化化合物の分子設計、殺虫性・抗菌性ペプチドの探索、ペプチド性植物防御反応誘導化合物の作用機構、植物ホルモンオーキシンの代謝。	宮川 恒 宮下 正弘
化学生態学 【304】	生物間相互作用にかかわる化学的要因の解明とその生態学的意義の解析。主要課題は、昆虫と植物の相互作用を司る情報化学因子の有機化学的解析、化学生態学的究明。ホルモンによる昆虫の発育制御、環境適応機構の解明。	森 直樹 小野 肇 吉永 直子
植物栄養学 【305】	光合成の光エネルギー変換などの植物栄養代謝を支える反応の分子機構を、無機化学・生化学・構造生物学・分子生物学的に解析し、それを環境ストレス応答などの植物生理現象の理解や、作物の生長促進、植物代謝機能を利用した有用物質生産に発展させる研究。	伊福健太郎 小林 優 落合久美子
(宇治) エネルギー変換 細胞学 【306】	細胞内外における環境変化に対する真核生物の適応応答に関する分子細胞生物学的研究。おもに酵母をモデル生物として、シグナル伝達や遺伝子発現制御機と、その生理的意義の解明。細胞内でのエネルギー変換プロセスにおける代謝物の生理機能の解明。	井上 善晴 野村 亘*2
発酵生理及び 醸造学 【307】	微生物生理及び微生物生産に関する基礎と応用研究。微生物の探索を基盤に、微生物に特徴的な機能を生態・代謝・酵素・遺伝子・分子レベルから究明し、それを有用物質生産、エネルギー生産、機能性食品素材の開発、食料・作物生産、環境・生態系制御技術などに応用する研究。寄附講座産業微生物学、生理化学研究ユニットと協力して研究を推進。	小川 順 岸野 重信 安藤 晃規 上田 誠*3 原 良太郎*3 竹内 道樹*3
制御発酵学 【308】	微生物・動植物細胞の代謝制御・遺伝子発現制御・細胞内構造制御などの動的変化に立脚した新しい細胞制御機能の探索とその分子機構解明。また複合生物系や動植物も含めた異種生物における微生物機能の発現を利用した有用物質生産・新資源開拓及び環境保全に関わる新しい細胞機能の開発研究。生理化学研究ユニットと協力して教育研究を推進。	阪井 康能 由里本博也 白石 晃将
生体機能化学 【309】	エネルギー変換、情報変換に関わる生体機能分子、分子集合体の機能解明とその応用。酸化還元酵素、電子伝達反応、光合成反応、生体膜イオン輸送、バイオセンサ、バイオ電池など。	白井 理 北隅 優希 宋和 慶盛
生物機能制御 化学 【310】	独創的な生理活性化合物をデザイン・有機化学合成し、その作用機構研究を基盤として、電子伝達酵素やトランスポーターなどミトコンドリアの機能に深く関わる酵素や膜タンパク質のメカニズム解明を目指す生物有機化学的研究。	三芳 秀人 村井 正俊 榊谷 貴洋

応用生命科学専攻（続）

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
(宇治) 応用構造生物学 【311】	X線結晶構造解析とプロテインエンジニアリングを用いたタンパク質の機能解析。タンパク質の変性と立体構造形成の機構。アミラーゼ、セリンプロテアーゼインヒビター、トランスグルタミナーゼ、食品関連酵素、卵白タンパク質等の構造と機能。	水谷 公彦
(化研) 分子生体触媒化学 【312】	植物の生長・分化や環境応答を調節する植物ホルモンの生合成、輸送、受容・信号伝達に関する生化学、生物有機化学、遺伝学的研究。突然変異体の解析から示唆される新しい植物ホルモン様物質の探索。植物ホルモン関連遺伝子や化合物を利用して、植物の生長を人為的に制御するための研究。	山口信次郎 増口 潔
(化研) 分子微生物科学 【313】	極限環境微生物の環境適応を担う分子基盤の解明と応用。微生物が生産する有用酵素の開発、精密触媒機構の解析、機能改変、物質生産への応用。生体膜における脂質の機能と生合成・代謝に関する研究。微生物が細胞外に生産する膜小胞の形成機構解明と応用。	栗原 達夫 川本 純 小川 拓哉
(生存研) 森林圏遺伝子統御学 【314】	植物の生産する生理活性物質の生合成酵素、膜輸送、蓄積に関する遺伝子の分子生物学的、生化学的解析。二次代謝系遺伝子を用いた有用植物の分子育種。マメ科植物の根粒と共生窒素固定に関する研究。植物と根圏微生物の相互作用に関する研究。化石資源を代替する有用物質生産性植物の開発。	矢崎 一史 杉山 暁史 棟方 涼介
(生存研) 森林代謝機能化学 【315】	植物の細胞壁成分及び有用二次代謝成分の形成代謝機構の解明に関する天然物化学、生化学、及び分子生物学的研究。バイオリファイナリーに適する樹木と大型イネ科植物の分子育種。植物細胞壁成分、特にリグノセルロースの高度利用に向けた精密化学構造と超分子構造の解明。抗腫瘍性リグナンの生合成機構解明。フェニルプロパノイド生合成における立体化学制御機構の解明。腸内細菌による哺乳動物リグナンの生成機構解明。	梅澤 俊明 飛松 裕基
(生存研) 木質バイオマス変換化学 【316】	セルロース系バイオマスをバイオエタノール、化学品等へ微生物、酵素および化学反応により変換する基礎および応用研究。分子生物学的手法による担子菌類の基礎および応用研究。担子菌の選択的リグニン分解を統御する分子機構に関する基礎研究。バイオリファイナリーのための植物細胞壁の精密構造解析、分解酵素との相互作用の解明。生体触媒による環境修復。	渡邊 隆司 渡邊 崇人 西村 裕志

(宇治) 宇治キャンパス …………… 宇治市五ヶ庄

(化研) 化学研究所 …………… 同 上

(生存研) 生存圏研究所 …………… 同 上

*1 高等研究院 iCeMS

*2 学際融合教育研究推進センター生理化学研究ユニット

*3 寄附講座 産業微生物学

応用生物学専攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
植 物 遺 伝 学 【401】	作物の品種改良を念頭に置きつつ、生物の相互作用、環境適応に関わる遺伝子群やゲノムのダイナミックス、さらに種内分化と新しい種の成立について、遺伝学の立場から研究する。	吉田健太郎 井上 喜博
栽培植物起原学 【402】	多様な栽培植物の進化と起源に関する研究。さまざまな野生植物がヒトとの関わりにより栽培化され、ヒトと共進化してきた過程を、フィールド調査やゲノム配列解析により明らかにする。	寺内 良平 安井 康夫 堺 俊之
植 物 病 理 学 【403】	植物病原体の生化学的・分子生物学的研究および病原体と植物の相互作用の研究。特に植物病原性の糸状菌、細菌、RNAウイルスの病原性発現機構、および、それらの病原体に対する植物の抵抗性機構の研究。	高野 義孝 三瀬 和之 峯 彰
昆 虫 生 態 学 【404】	昆虫類の生態および進化に関する研究。特に、生活史戦略、行動生態学、個体群生態学および基礎的な発見をベースとした新たな害虫管理技術の確立。社会性昆虫の社会生態の解明、繁殖分化制御機構の解明、昆虫と微生物の相互作用、有性生殖と単為生殖の進化ダイナミックスの研究。	松浦 健二 高田 守 小林 和也 (フィールド研)
昆 虫 生 理 学 【405】	昆虫の分子生理学および分子遺伝学に関する研究。特に、昆虫の脱皮変態の内分泌学的制御機構の解明、新規遺伝学的ツールの開発、フェロモンの化学生態学と生理学に関する研究。	大門 高明 大出 高弘
動物遺伝育種学 【406】	動物の質的・量的形質に関する分子生物学・分子遺伝学・統計遺伝学・システム生物学的研究。特に、糖尿病をモデルとする形質の遺伝・発現機構の解明、ヒトとウシにおける骨格筋内の脂肪蓄積形成機構の解明、資源動物の遺伝的多様性や有用形質の評価・育種改良・保全法の確立、特別天然記念物トキやコウノトリなど希少動物の遺伝的多様性評価・個体分類・保全法の確立。	横井 伯英 谷口 幸雄
生 殖 生 物 学 【407】	哺乳動物における受精から着床に至る発生の制御メカニズムの解明。特に、全能性の獲得および全能性から多能性への移行を制御するエピジェネティクスの解明。生殖細胞形成に関わる遺伝子発現制御の解明。	南 直治郎 池田俊太郎 本多慎之介 星野洋一郎 (附属牧場)
動物栄養科学 【408】	栄養条件の悪化に対して、肝臓・筋肉・脂肪組織（細胞）で起こる防御応答の解明。微量栄養素（ビタミン・ミネラル）代謝が調節される仕組みの解明。肥育牛の栄養生理。ストレスによる負の影響を緩和する栄養学の確立。伴侶動物の健康増進に向けた基礎研究。	舟場 正幸 友永 省三
生 体 機 構 学 【409】	動物の解剖組織学および病態生理学に関する研究。高機能性成分、環境変化が動物の生理・免疫・生殖機能に及ぼす影響を解明。哺乳動物の生殖器官の機能形態とその制御に関する研究。	太田 毅 杉本 実紀
畜 産 資 源 学 【410】	和牛に関する自然科学と社会科学を融合する学際研究。動物の発育に関する一般理論の構築。熱帯地域の家畜と飼料利用に関する研究。未利用資源（エコフィード）の飼料化と機能性の探究。加速度センサー等を用いた放牧研究。アニマルウェルフェアに関する研究。	廣岡 博之 熊谷 元 大石 風人

応用生物科学専攻（続）

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
海洋生物環境学 【411】	海洋をはじめ、湖沼や河川を含む水圏における持続的な生物生産をもたらす水圏生態系の仕組みや水圏生物の行動生態をバイオロギング、安定同位体分析、生態系モデルなどの手法を用いて明らかにする研究。	三田村啓理 市川光太郎 小林 志保 木村 里子 (東南アジア地域研究研究所) 久米 学 (フィールド科学教育研究センター)
海洋生物増殖学 【412】	海洋生物資源、特に魚類の持続的利用の基礎としての生理・生態学。異体類の変態の発生内分泌学的研究。人工種苗稚魚における形態異常の研究。資源管理の基礎となる種分類、個体群構造や種間交雑の遺伝学的研究。地域仔稚魚相の経年変化調査。	田川 正朋 中山 耕至
海洋分子微生物学 【413】	新規海洋性(超)好熱菌、真核微生物、および水圏ウイルスの探索、ゲノム解析と次世代極限酵素や転写制御機構をはじめとした有用遺伝子資源の開発基盤に関する分子微生物学的研究。情報学的手法に基づく海洋微生物・ウイルスの分子生態学的研究。	吉田 天士 神川 龍馬
海洋環境微生物学 【414】	・微細藻類・ラビリントウ類によるω3系脂肪酸・カロテノイド等有用物質生産を目的としたゲノム科学・遺伝子操作 ・極限環境に棲息する微生物の生理・生態 ・共生の分子機構に関する研究	澤山 茂樹 中川 聡
海洋生物生産利用学 【415】	海洋生物、特に藻類、無脊椎動物、微生物が有する機能性成分について、探索評価ストラテジーの開発、それに基づく新規機能性の探索とそれらの細胞生物学、分子生物学的機能解析。製品化を目指した国内外機関との共同研究。	菅原 達也 真鍋 祐樹 毛利 晋輔
海洋生物機能学 【416】	海洋生物の食品としてのヒトの健康増進機能の解明による融合新分野の開拓ならびにその応用。水棲生物遺伝子改変技術とその利用。海洋生物機能の環境・個体・成分レベルでの研究。	佐藤 健司 木下 政人
(フィールド研) 里海生態保全学 【417】	魚類の初期生態と成育場の機能、仔稚魚の行動の個体発生に関する研究。形態学的・遺伝学的手法を用いた海産魚類の分類学的研究。動物プランクトンの生態と環境変動に関する研究。環境DNAを用いた水圏生物の生態学的研究。魚類の認知と学習。干潟域のハゼ類の共生生態学。河川・河口・沿岸域の環境と生物生産機構との関係、およびこれらに対する森林域・里域の影響に関する研究。	益田 玲爾 甲斐 嘉晃 鈴木 啓太 高橋 宏司 邊見 由美

栽培植物起原学研究室分室 京都府向日市物集女町
 (フィールド研) フィールド科学教育研究センター
 海域ステーション 舞鶴水産実験所 京都府舞鶴市長浜
 附属牧場 京都府船井郡京丹波町

地域環境科学専攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容		教 員 名
比 較 農 業 論 【５０１】	比 較 農業論	食糧・生命・環境をめぐる人為一環境系の諸相とその相互連関を幅広いスペクトルで捉える複合領域の研究。例えば、国内外の種々の家畜の多様性と地域特性を考慮した遺伝的改良、土地資源の持続的利用を目指し、土地を社会・生態システムとして評価する手法の開発及び適用、果実成熟のメカニズムの解明とその応用技術の開発など。	三宅 武 真常 仁志 片山 礼子
熱帯農業生態学 【５０５】	生物・ 生態系	熱帯の作物生産に影響する環境要因の解明。耕地・地域環境が畑作物、蔬菜、果樹等熱帯作物の生理・生態に及ぼす影響と両者の相互作用。熱帯作物の栽培に関する生態学的研究。熱帯地域の土地利用・農業体系の解析。熱帯作物の起源と伝播。	樋口 浩和 近藤 友大
土 壌 学 【５０６】		土壌生態系における物質動態の把握、熱帯～寒帯地域の土壌生成過程及び分類法、自然及び耕地生態系における植物－土壌の相互作用、土壌肥沃度評価法、環境保全型土地利用及び土壌管理法の開発、GIS やジオスタティスティックスを用いた環境情報の高度利用法。	舟川 晋也 渡邊 哲弘 柴田 誠
微生物環境制御学 【５０７】		農林生態系に関わる微生物ならびに線虫類など微小な生物群、なかでも菌類の種生物学的研究、生態特性を規定する生理機構に関する研究や生物間相互関係の分子生物学・ゲノム生物学的手法を用いた研究、および、制御・利用に関する基礎および応用研究。 寄附講座糸状菌・環境インターフェイス工学講座と協力して研究を推進。	田中 千尋 吉見 啓 竹内 祐子
生態情報開発学 【５０８】		重要害虫である植物ダニ類や微小害虫類の防除のための基礎および応用研究。主な内容は、害虫およびその天敵の相互作用、天敵や害虫の生態的・遺伝的特性解明、環境適応の進化機構、自然生態系における天敵・害虫の分布・移動の実態解明。	日本 典秀 矢野 修一

地域環境科学専攻（続）

専門種目名 【番号】	研 究 内 容		教 員 名
施設機能工学 【５０９】	地域環境工学 (水・土・緑系)	農村生活環境や農業生産の基盤となる農業水利施設を対象として、その設計および安定性・機能性の評価に関する基礎／応用研究。特に、土構造物の挙動に関するモデル化と、逆問題を含めた数値解析法。環境影響評価。	藤澤 和謙 木山 正一 KOCH, Michael Conrad
水資源利用工学 【５１０】		水資源の開発・保全、農業水利を中心とした利水環境の計画・管理などに関する基礎的・応用的研究。特に、水環境（水流及び水質）の数値モデル化・解析理論、水環境の最適制御・管理の基礎理論構築とその応用。	藤原 正幸 宇波 耕一 竹内潤一郎
水環境工学 【５１１】		水のマネジメントを通じた地域環境管理の土台となる灌漑排水学、水文学、土壌物理学の基礎と応用研究。農業生態系の水・物質・エネルギー循環の解明とその人による制御に関するフィールドワークと解析。	中村 公人 濱 武英
農村計画学 【５１２】		農村土地利用計画並びに農業生産基盤整備・農村生活環境整備、自然環境保全、農村景観形成などの農村計画・農村整備に関する計画理論の構築と計画手法の開発並びに農村活性化に関する実践的・応用的研究。	星野 敏 鬼塚健一郎 BASU, Mrittika
(複合原子力科学 研究所) 放射線管理学 【５１６】		地域環境の保全を目的とした原子力施設等における放射線管理に関する研究。特に、施設から環境への放射性物質の放出、環境・生態系における動態、人体や環境生物への影響等、施設－環境－人体を総合的なシステムとしてリスクを評価し、適切に管理するための基礎・応用的研究。	五十嵐康人 木梨 友子 八島 浩
農業システム工学 【５１３】	地域環境工学 (食料・エネルギー系)	人間や自然環境を考慮した食料生産とバイオマス利用のシステム解析。人間の栄養必要量に基づく食料生産体系の提案と環境影響評価によるシステム最適化。データサイエンスに基づく栽培予測モデルの研究。メタン発酵による資源循環に関する研究。	野口 良造 宮坂 寿郎 大土井克明
フィールドロボティクス 【５１４】		食料・エネルギーを生産する農業機械、農業ロボット、および、その知能化に関する研究。適期・適材・適量・適所のスマート農業技術の確立に向けて、作物の生育診断を行うリモートセンシングと、可変量に肥料と農薬を施用するスマートマシンに関する研究。	飯田 訓久 村主 勝彦 増田 良平
生物センシング工学 【５１７】		細胞－物質間の相互作用の計測、紫外からテラヘルツ帯における分光を用いた物質特定、精密養魚・精密畜産を目指した生体計測とその応用、農産物性と非破壊検査技術、農業生産施設における自動化・ロボット化のためのセンサ技術、食料生産の情報化	近藤 直 小川 雄一 鈴木 哲仁 白神慧一郎

複合原子力科学研究所 大阪府泉南郡熊取町朝代西２丁目

生物資源経済学専攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
農業食料組織経営学 【609】	農業経営・フードシステム・アグリビジネスの持続可能性、農畜産物の価格と品質の調整、地域農業組織・食農支援組織（農協・生協など）による農業を支える仕組み、フェアトレード・CSA・産消提携、CSR、食品の安全・リスク管理、消費者行動	辻村 英之 鬼頭 弥生
経営情報会計学 【602】	家族経営・企業の経営及び集落営農等の経営発展・経営管理，新技術導入に関する農業経営の計数管理，それらの新技術導入に関連した投資・資金問題等の経営計画・管理会計，新規就農や経営改善に応用可能な経営設計・計画策定支援手法の開発に関する理論的・実証的研究	松下 秀介 伊庭 治彦
地域環境経済学 【603】	①地域の資源環境と農林業との相互関係、持続可能な開発と環境資源制約に関する理論的・実証的研究、②農業構造政策、地域活性化政策、農産物貿易政策を含む農業保護政策の国際比較。	沈 金虎
食料・環境政策学 【604】	食料需給政策、農業の構造問題、食料政策の制度設計、農業生産組織の役割、資源利用の経済評価、環境ガバナンス、農村共有資源の保全と利用などに関する理論的・実証的研究。	伊藤 順一 北野 慎一
森林経済政策学 【610】	森林の利用と保全、地球温暖化と森林、生物多様性政策、野生動物保全、国立公園管理、国内外の森林・林業政策などの経済分析。森林や環境問題に関する環境経済学・計量経済学・実験経済学を用いた理論的・実証的研究。	栗山 浩一 三谷 羊平
国際農村発展論 【606】	発展途上国や経済発展下の、農村発展問題、貧困問題、農家経済、農業生産、農村制度、農村組織、フードシステム、消費、農業政策、貿易などに関するミクロ経済学、計量経済学、新制度経済学を用いた理論的・実証的な研究。	浅見 淳之 中田 義昭 三浦 憲
比較農史学 【607】	農業・農村・農民の存在形態と発展過程、およびそれらをめぐる政策・運動・思想の歴史研究、食や動物に関する歴史研究、総じて人間社会と自然との関わり方についての欧米と日本、アジアと日本の比較史・環境史・社会史的研究。	足立 芳宏 伊藤 淳史
農学原論 【608】	農業・農村の経済的社会的実態把握をふまえた、新たな農学の課題と方法論についての哲学的、倫理学的研究。発展途上国、先進国における持続可能な食と農の構築にむけた社会学的、人類学的、思想史的研究。	秋津 元輝 坂梨 健太 FEUER, Hart Nadav

食品生物科学専攻

専門種目名 【番号】	研 究 内 容	教 員 名
酵 素 化 学 【701】	コラゲナーゼ、キシラナーゼ、逆転写酵素、トランスグルタミナーゼ、リボスクレアーゼの構造と機能の解析。それらの有用酵素の創製と酵素反応の制御。それらの阻害物質の探索と阻害機構の解明。有用酵素と阻害物質の食品工業と医薬工業への応用。	保川 清 滝田 禎亮
(宇治) 食 品 化 学 * 【709】		
生 命 有 機 化 学 【703】	がん、アルツハイマー病、ヒト免疫不全ウイルスに係わる各種タンパク質（酵素）の制御を目指した機能性ペプチドや有機小分子の化学合成、ならびに抗体、核酸アプタマーの開発。生体や食品に含まれる有機化合物を基盤とした、疾病に有効な新規治療薬や予防薬の創製。有用な天然生物活性物質の探索や全合成とその機能解明。	入江 一浩 村上 一馬 塚野 千尋
栄 養 化 学 【704】	食行動の制御メカニズムの全容解明をめざし、神経科学・内分泌代謝学・分子生物学・遺伝学など、生命科学のアプローチを幅広く取り入れた研究。栄養素ベースの食欲の調節メカニズムの解明。好き嫌いのメカニズムの解明。代謝と食の連関の研究。褐色脂肪の前駆細胞に関する研究。解明したメカニズムに作用する機能性成分の探索と、その効果の検証。生活習慣病の予防と治療につながる研究と開発。	佐々木 努 都築 巧 松居 翔 小栗 靖生
(宇治) * 食品分子機能学 【705】		
(宇治) 食品生理機能学 【706】	食品成分と生体との相互作用に関する食品生理機能学的研究：運動と疲労感に関する栄養科学・神経科学、食品の美味しさに関する生理学・行動学的研究、食品由来のペプチド及びタンパク質などで、脳神経系、免疫系、循環系、消化系などに作用する物質の構造と生理機能、作用、吸収と代謝ならびに他の食品成分との相互作用に関する研究、脂質代謝と肥満の分子メカニズム、生活習慣病を予防・改善する食品成分の探索と食品への応用研究、身体の恒常性を保つ臓器間情報ネットワークの解明、メタボロミクス（代謝物包括解析）の食品科学・代謝機能学への応用。	井上 和生 大日向耕作 後藤 剛 高橋 春弥 横川 拓海
農 産 製 造 学 【707】	食品素材の高機能化と消化管生理機能の制御：多糖類のナノ繊維化と腸内環境変動の解析、乳脂肪球膜の免疫機能と加工制御、穀物・畜産物・昆虫素材の加工機能性の向上、質量分析イメージングによる食品成分の体内動態解析、腸管上皮細胞における感覚受容の解明。油脂加工技術による蓄熱材の開発と亜臨界流体を用いた有用物質生産。食品内部の物理化学的情報の可視化とそれに基づいた食品機能のデザイン。	谷 史人 松宮健太郎 小林 敬 小川 剛伸
(宇治) 生物機能変換学 【708】	微生物と動物・植物との相互作用、微生物の物質認識と走化性、発酵食品の微生物生態に関する分子生物学、微生物酵素と輸送体の構造生物学、ガス状物質（窒素と酸素）に対する微生物の細胞応答、微生物・酵素の探索と機能解析ならびに食品・環境分野への応用、合成生物学によるバイオ燃料・化成品の生産、微生物細胞膜のダイナミクス。	橋本 渉 高瀬 隆一 老木紗予子

(宇治) 宇治キャンパス …………… 宇治市五ヶ庄

* 2023年度は募集しない。

関係研究施設等

施設名等	研 究 ・ 業 務 内 容	所属教員
附 属 牧 場	肉用牛生産に関する実習教育。肉用牛の繁殖技術に関する研究。肉用牛の肥育技術の改善に関する研究。センシング技術を用いた肉用牛の健康・繁殖管理に関する研究。	星野洋一郎
国 際 交 流 室	農学研究科に在籍する外国人研究者および留学生の生活支援、大学院留学生の教育、国際交流に関わる業務、外国人招へい研究員受入に関わる業務。具体的には、新入留学生に対するガイダンス、歓迎パーティー、留学生向けの英語による講義、ニュースレターの発行、見学会の実施、日本語教室、留学生の相談業務など。	秋津 元輝 三宅 武 真常 仁志 片山 礼子 Garry John PILLER

附属牧場 京都府船井郡京丹波町

備 考

専門種目名、研究内容などをさらに詳細に知りたい場合は、当該専攻に問い合わせてください。

農学専攻 075-753-6040

森林科学専攻 075-753-6230

応用生命科学専攻 075-753-6260

応用生物科学専攻 075-753-6210

地域環境科学専攻 075-753-6150

生物資源経済学専攻 075-753-6290

食品生物科学専攻 075-753-6260